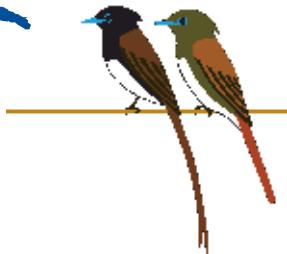




やまびこ



ごあいさつ



静岡県立静岡がんセンター 副院長
坪佐 恒宏

師走の候、地域の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より当センターの診療ならびに地域医療連携に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当センターはがん専門病院として、診断・治療から緩和ケアに至るまで切れ目のない医療を提供することを使命としております。しかし、その使命を果たすためには、地域の病院・診療所、訪問看護ステーション、介護・福祉施設など、多くの皆様との協力が不可欠です。患者さんやご家族が安心して住み慣れた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の垣根を越えた連携を今後も一層強化してまいります。

特に近年は、高齢のがん患者さんの増加や、治療の長期化・複雑化により、地域との連携の重要性がますます高まっています。当センターでは、退院支援や在宅療養への移行を見据えた多職種による支援を進めるとともに、緩和ケアの早期介入やリハビリテーションの充実にも努めています。これらの取り組みは、地域の皆様との協働によって初めて成り立つものであり、日々のご協力に深く感謝申し上げます。

また、地域医療連携室を中心に、研修会やカンファレンスを通じて知見を共有し、顔の見える関係を育むことで、地域全体でがん医療の質を高めていきたいと考えております。患者さんとご家族にとってより安心できる医療体制の構築に向けて、今後とも共に歩んでまいりたいと思います。

本年も残すところわずかとなりました。寒さ厳しき折、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げるとともに、来年も引き続き当センターへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



| もくじ | CONTENTS |
|---------------|----------|
| ごあいさつ | P1 |
| 特集：ロボット手術 | P2 |
| 診療科紹介(婦人科) | P2 |
| 静がんアート探訪 | P3 |
| 地域医療連携室よりお知らせ | P4 |
| 編集後記 | P4 |



第3回 ロボット支援手術～婦人科～

身体への負担が少ない低侵襲手術として腹腔鏡手術が普及しています。さらにその進化形として注目されているのが「ロボット支援手術」です。ロボット支援手術は、医師の操作を精密に再現する多関節アームと、立体的な3D高精細画像によって、より繊細で正確な手術を可能にする技術です。これにより、出血量の減少、痛みの軽減、早期回復といった従来の腹腔鏡手術の利点を一層高めることができます。特に骨盤深部など狭い手術部位においても、安全かつ安定した操作が行える点が大きな特長です。

静岡がんセンターでは、2011年に手術支援ロボット「da Vinci（ダヴィンチ）」を導入して以来、消化器・呼吸器・泌尿器・婦人科・頭頸部など幅広い領域でロボット支援手術を実施してきました。2023年には国産の「hinotori（ヒノトリ）」を導入し、現在は計5台体制で年間約1,000件の手術を行っています。これまでに実施したロボット支援手術は累計約5,500件に上り、執刀医47名、指導医資格を持つ医師16名が在籍しています（2024年12月時点）。

導入当初は大腸外科から始まり、胃外科、泌尿器科、呼吸器外科、婦人科、食道外科、肝胆膵外科、頭頸部外科へと対象を拡大し、現在は15臓器41術式に対応しています。

今回の機関誌やまびこでは、婦人科におけるロボット支援手術を特集します。

婦人科におけるロボット支援手術

婦人科部長 武隈 宗孝

静岡がんセンター婦人科では、子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌を中心とした婦人科がんの治療を専門に行ってています。現在、婦人科腫瘍専門医9名とレジデント4名の体制で、手術療法・薬物療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療を日々実践しています。私たちの診療の基本理念は、「科学的根拠に基づいた標準治療を誠実に実践すること」です。これは、一人ひとり異なる背景を持つ患者さんに対して、最も信頼できる治療を提供するという意味であり、当科が何よりも大切にしている姿勢です。

手術療法では、開腹手術・腹腔鏡手術に加え、手術支援ロボット（da Vinci）を用いた低侵襲手術を積極的に導入しています。特に子宮体癌に対するロボット手術は年間約60件と増加しており、今後さらに件数の増加が見込まれます。ロボット手術は、繊細な操作が可能で出血量が少なく、術後の回復も早いという利点があり、患者さんの生活の質を保ちながら根治を目指す治療として高い評価を得ています。また、手術適応の判断や技術の向上にも力を入れ、院内外の症例検討や技術トレーニングを通じて質の高い医療を維持しています。



2列目：望月医長、川村医長、芝谷医長、平嶋診療部長

1列目：高橋医長、武隈科部長、角医長

化学療法（抗がん剤治療）においても、標準治療を中心に分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの新しい薬剤を積極的に取り入れています。卵巣癌ではPARP阻害薬、子宮体癌では免疫療法と化学療法の併用、子宮頸癌では抗体薬物複合体（ADC）などが標準治療として加わり、治療成績は大きく向上しています。当科では臨床試験にも積極的に参加し、新しい治療法の開発や実臨床への応用にも貢献しています。

さらに、医師だけでなく、看護師・薬剤師・心理士・栄養士など多職種が連携し、患者さんとそのご家族を包括的に支援しています。病状や治療方針について丁寧に説明し、患者さんが納得して治療に臨めるようサポートすることも、私たちの大切な使命です。

今後も私たち静岡がんセンター婦人科は、最新の科学的知見と高度な技術をもとに、患者さん一人ひとりに最善の治療を提供できるよう努めていきたいと考えます。

次回の機関誌やまびこでは、泌尿器科におけるロボット支援手術について特集いたします。



手術支援ロボット（da Vinci）の遠隔操作の様子

しづがん 院内アート探訪

このコーナーでは静岡がんセンター本棟内のアート作品をご案内してまいります。病院本棟から緩和ケア病棟へと続く長い廊下には「百合の実」と「エンジェルズ・トランペット」の絵画が展示されています。今回はこのうち「百合の実」をご紹介いたします。

和紙に植物をモチーフとしたエッチングを刷り、一枚一枚ちぎりさまざまな空間に貼りつけてゆくインスタレーション形式の作品の展示となる“オーガニズム・シリーズ”。

百合は気高く、香り高く、その特徴ある花弁の開き方、そして蕾の流線形の美しさで多くの人に認知されている花の1つかと思います。

この作品には、作者のこだわりや想いが表れています。この作品をつくるうえで、作者が大切にした考えやテーマをご紹介します。



百合の実 杉山啓子作 2002年3月

『今回、院内に「百合の実」を育てたかったのは、花や蕾にくらべるとかえりみられる事の少ないであろう百合の実の形の美しさとその内側に次へのエネルギーとなる種子をたくさんたくさん蓄えている——（花が）終わった後でもあり、始まりでもある——姿に魅せられるものがあったからです。』

地域医療連携室よりお知らせ

NEWS

研修情報

1) 2025年度臨床腫瘍学コース

臨床腫瘍学コース



毎月、臨床腫瘍学コースを開催し地域の医療従事者の方々にも公開しています。

開催時間：18:00～19:30、会場：静岡がんセンター 管理棟4階 研修室1

◇詳細は静岡がんセンター総務課企画人材班 TEL：055-989-5222(代)までお問い合わせください。

| 日 時 | テ ー マ | 講 師 (敬称略) |
|------------|--------------------------------|--------------------|
| 12月26日 (金) | 患者の意思決定支援に必要なコミュニケーションについて (仮) | 緩和医療科 主幹 柳場 美穂 |
| 1月23日 (金) | がん患者の口腔ケア (仮) | 歯科口腔外科 部長代理 岡 久美子 |
| 2月27日 (金) | 血液のがん (仮) | 血液・幹細胞移植科 医長 吉嗣加奈子 |

2) 2025年度臨床研究研修会

静岡 臨床研究研修会



臨床研究に携わる医師・歯科医師、研究支援者を対象とした研修会を開催しています。

◇詳細は臨床研究支援センター臨床研究管理・調整室 TEL：055-989-5222(代)までお問い合わせください。

| 日 時 | テ ー マ | 講 師 (敬称略) |
|----------------------------------|-------------------|---|
| 12月19日 (金) 16:00～17:30 | アピアランスケアについて (仮) | 静岡がんセンター 化学療法センター 看護師 小柴 安奈 |
| 2026年 2月6日 (金) 18:00～19:30 | 臨床研究法と法規制について (仮) | 東北大学病院 臨床研究監理センター 被験者保護部門 特任講師 横田 崇 |
| 2月20日 (金) 18:00～19:30 | がん患者の悩みについて (仮) | 静岡がんセンター よろず相談 主幹 御牧 由子 |

静岡がんセンターでは次の公式・公認アカウントで情報発信をしております。

最新情報はSNSで！公式アカウントをぜひフォローしてください。

静岡がんセンター
公式・公認SNS
フォロワー募集中！



▲Youtube



▲Instagram



▲Instagram(看護部)

編集後記

師走に皆様にお届けする「やまびこ」では、婦人科におけるロボット支援手術をご紹介します。当院婦人科では、このような外科治療のみならず、卵巣がん、卵管がん、腹膜がん、子宮頸がん、子宮体がん、外陰がん、膣がん、絨毛性疾患、肉腫、胚細胞腫瘍など多様ながん種の治療をおこなっています。また、患者さんの状態によっては新規薬剤治験や医師主導臨床



試験にご参加いただき、より良い治療法の開発にも取り組んでいます。さらに、治療に伴う妊娠性、外見（アピアランス）、就労、就学への影響についてもご相談に応じております。今回特集した手術治療のみではない当院の婦人科治療に今後ともご理解、ご協力いただけますようよろしくお願いします。

発行 静岡県立静岡がんセンター 患者家族支援センター 地域医療連携室

〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪 1007 TEL: 055-989-5222(代)

発行責任者 地域医療連携室 副室長 松見 しのぶ